

武蔵野市地域公共交通活性化協議会

平成21年3月16日設置
平成22年3月17日連携計画策定



概要

市民の視点に立った、高齢者や障害者をはじめ市民誰もが利用しやすい交通体系の実現に向けて、「分かりやすく、利用しやすい公共交通」、「信用・信頼され、好感を持たれる公共交通」、「環境・経済・社会的に持続可能な公共交通」を構築する。

今までは、個別に整備されてきた既存の公共交通を、利用者の立場に立って、利便性やシームレス化(ネットワーク化)の向上を図るために、一体的・体系的な運行・運営方策の構築をめざす。

○公共交通の総合案内板の設置

JR三鷹駅前に総合案内板を設置し、公共交通の情報提供の改善を図る。

【実施主体】 武蔵野市、バス・タクシー事業者

○バス乗場・乗場番号の行先・方面別整理

JR三鷹駅北口ロータリーを、行先・方面別に乗場の整理・統一を図り、方向別のカラーやマークで区別できるようにする。

【実施主体】 武蔵野市、バス・タクシー事業者

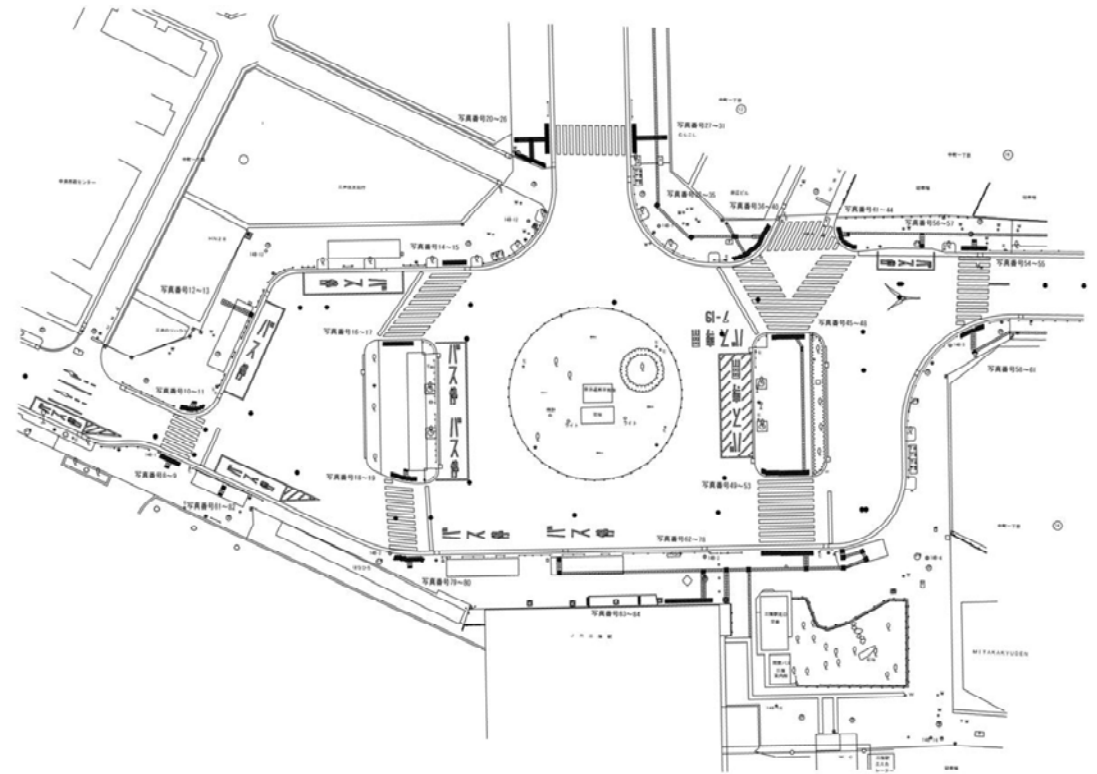
<補助対象外事業>

○ムーバス1号路線の運行ルートの一部変更(実証運行)

沿線でアクセス要望がある高齢者施設へ、時間帯や本数等を限定した経由ルートで運行を実施する。

○公共交通総合案内所・サービスセンターの設置の検討

○武蔵野版 交通ICカードの導入の検討



▲JR三鷹駅北口ロータリー